

ふしぎ発見ワークショップ出展報告

九州産業大学 情報科学部 合志 和晃

goshi@is.kyusan-u.ac.jp, <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~goshi/j/>

1. ふしぎ発見ワークショップ

「ふしぎ発見ワークショップ」は、学生の理系離れを防ぎ科学技術へ関心をもってもらうために、理工系学部を持つ大学が中高生に研究を分かりやすく紹介するイベントです。5月11日に小倉北区浅野の西日本総合展示場で九州・山口で理工系学部を持つ11の国公立大が参加して開催されました。情報科学部も、九州産業大学ブースの一部として出展しました。

2. 出展内容

学部内の研究グループである情報システム研究会からiアプリコンテスト参加のチーム「チバラキ」と知能情報学科の松永研・合志研が参加しました。

チーム「チバラキ」は、iアプリコンテストでの大賞受賞作品であるRPGゲームの携帯電話を使った実機デモや、プロジェクターによるゲーム画面の投影、グラフィックス作成のデモ、次期作品の開発のデモを行いました。

松永研・合志研では、携帯電話で安全運転の適性検査が可能であるKM式安全運転序言検査システムと足のサイズや形状を自動で計測する足型測定装置（アサヒシューズとの共同開発）のデモンストレーションをおこないました。

3. 中高生の反応

iアプリコンテストの作品のデモは、プロジェクターで投影したこともあり、「昔のドラクエみたい!」と近づいてくる生徒さんが多く、それを学生が作ったということで大変興味を持ってもらえました。

KM式安全運転序言検査システムは、対象が運転免許を持たない中高生ということもあり説明に難しい面もありますが、説明担当の学生の頑張りによって実際に検査にチャレンジしてくれる生徒さんもいました。

足型測定装置は、装置が大型でさらにその上に人が乗るので人目を引きやすく、測定結果を「おみやげ」として渡したこともあって、かなり盛況でした。元気な生徒さんたちがにぎやかに測定されていました。

4. おわりに

学生のみなさんの頑張りもあってたくさんの生徒さんに興味を持ってもらえたのではないかと思います。情報システムは、開発し完成させるのがもちろん大事ですが、人に使ってもらったり、そのために人にそのシステムを説明したりすることも大事ですので、参加した学生にとっても良い経験だったと思います。

